

各 位

会 社 名 株 式 会 社 高 速
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 赫 裕 規
 (東 証 1 部 証 券 コード 7504)
 問 合 せ 先
 責 任 者 社 長 室 長 及 川 敏 正
 (電 話 022-259-1611)

剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（創立50周年記念配当）
に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り平成27年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことについて決議するとともに、平成28年2月12日に創立50周年を迎えるにあたり、記念配当を行うことを含め期末配当予想についての修正をすることといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成27年5月7日公表)	前期実績 (平成27年3月期)
基 準 日	平成27年9月30日	同左	平成26年9月30日
1株当たり 配 当 金	12円00銭	同左	11円00銭
配当金の総額	231百万円	—	230百万円
効力発生日	平成27年12月1日	—	平成26年12月1日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正

基 準 日	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期 末	年 間
前回予想 (平成27年5月7日公表)	12円00銭	12円00銭	24円00銭
今回修正予想	—	14円00銭 (普通配当12円00銭) (記念配当2円00銭)	26円00銭 (普通配当24円00銭) (記念配当2円00銭)
当期実績	12円00銭	—	—
前期実績 (平成27年3月期)	11円00銭	11円50銭	22円50銭

3. 理由

① 中間配当について

当社グループは、長期的に売上高及び収益を向上させ、その収益に見合った配当を安定的に継続することが、経営の最重要課題と考えております。当期につきましても業況および今後の収益の見通し、ならびに配当性向等を考慮のうえ、前年中間期と比較して1円増配し、1株当たり12円00銭の中間配当を実施することといたしました。

② 期末配当予想について

当社は、平成28年2月12日をもちまして創立50周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の長年にわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様に対して感謝の意を表し、そのご厚誼にお応えするために、平成28年3月期の期末配当において、1株当たり2円の記念配当を上乗せして実施させていただく予定といたしました。

これにより、創立50周年記念配当を含めた平成28年3月期の期末配当につきましては、1株当たり14円00銭と予定しております。

以 上